



連携室だより

—地域と共に、これからも—

岩手県立二戸病院地域医療福祉連携室

〒028-6193 岩手県二戸市堀野字大川原毛 38-2
TEL:0195-23-2191 URL:<http://www.ninohe-hp.net/>



No.3

発行月 令和3年3月

病院機能評価更新受審に向けて

地域医療福祉連携室次長・医療クオリティマネジャー

澤田 厚



当院は、今年 11 月に公益財団法人日本医療機能評価機構(以下「評価機構」)の病院機能評価更新受審を予定しています。2006 年 12 月に認定取得して以来3度目の更新受審となります。現在、病院機能評価対策小委員会を中心に 89 ある評価項目に沿って自己評価をし、改善点等を洗い出しているところです。

病院機能評価は、病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行い、評価を通じて病院の質改善活動を支援する取り組みとされています。全国では 2121 病院(2021 年 2 月現在)、岩手県内では 28 病院(うち県立病院は 17 病院)が認定されています。

病院機能評価を受審するメリットは、病院全体で改善を検討し、質を向上させるきっかけをつくることができることです。前回の審査結果と比較して、現状をどう改善できているかを把握することができ、新たな改善点を見出すことができます。

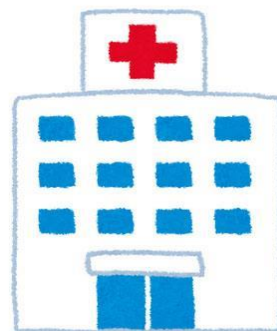
前回、当院は 89 ある評価項目のうち、S 評価:なし、A 評価:67 項目、B 評価:21 項目、非該当:1項目、という結果でした。前回の評価結果から、各項目1ランクアップを目標に、職員一人ひとりが課題を意識し、その解決に向け一緒に考えていくことが大事です。

コロナ禍にあって、インフォーマルな会合を自粛するなか、職員間のコミュニケーション不足が懸念されていますが、この機会を利用し、病院の質改善と職員間のコミュニケーションの醸成を図っていけるのではと期待しています。

病院は、自分たちでつくったルールが標準化され、文化として受け継がれがちです。他と比べて自分たちはどのレベルにあるのか、強みや足りない部分を知ることが、前に進むための第一歩であると考えています。

医療の質向上への意識化、行動化として、職員全体が主体的に取り組んでいかなければなりません。

当院は、この地域にとって「なくてはならない病院」に進化していく必要があると考えています。



ひめほたるネット「看看連携」について

総看護師長 林本 郁子

二戸圏域のほか周辺地域の連携施設の皆様には、日頃より大変お世話になっております。二戸病院看護科では患者さんの入院前から退院後までの生活支援を考えた看護の提供を目標に取り組んでおります。そこで、病院⇄施設等の関係性だけではなく、患者さんが生活者として自分の「生きる」ことを支援できる看護を二戸圏域全体で考えていきたいと思い、ひめほたるネット内に「看護部会」を平成 29 年度に設置させていただきました。まずは、看護職同士の顔の見える連携を目指し、二戸保健所さんからも協力を得て研修会等を定期的に行っていました。開催を重ねる毎に他職種の方々や初めて参加される施設が増え、皆様が関心を示してくださっていることが伝わってきます。また、各施設の現状等をお聞きすることが出来、看護職の目指すところは共通していると確信しました。令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため、皆様とお会いすることが出来ず残念でしたが、次回開催を楽しみにしております。今後も、皆様から貴重なご意見等をいただきながら、二戸圏域住民の「生きる」を考え、二戸病院看護科の看護の質向上につなげていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



どろんこ保育所の皆さんの絵を展示しました

12 月にクリスマスの飾り付けと一緒に「楽しみにしていること」というテーマでどろんこ保育所の園児の皆さんに描いて頂いた絵を展示しました。



院内も華やかになり、足を止めて観覧される方も大勢いらっしゃいました。

どろんこ保育所の皆さん、ありがとうございました。

たのしみになっていること、かなうといいですね♪

編集後記

もう年度が変わろうとしていることに驚きを隠せません...。
来年度もよろしくお願いいたします！

